



藤木 秀明 *Hideaki Fujiki*

東洋大学大学院 客員教授

分野

PPP/PFI総論、公共施設マネジメント、PPP/PFIプラットフォーム、地域金融機関との連携、事業構造を捉える方法

訪問可能地域

全国

相談手法

電話・メール・WEB

経歴

三菱東京UFJ銀行、浜銀総合研究所、内閣府(現総務省)公共サービス改革推進室、KDDI総合研究所などを経て現職

2010-2011 神奈川県秦野市 公共施設再配置計画(仮称)検討委員会 委員

2017 京都府公民連携プラットフォームアドバイザー

2019 国土交通省PPPサポーターに任命

2021 総務省「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」アドバイザーに任命

PPP/PFI事業導入を検討されている方へのメッセージ

行政が、財政で公共サービスを抱え込むことは難しくなった今、地域の企業や金融機関の事業モチベーションを賢く使うことで、持続可能な公共経営を高めることに挑戦しないのは大変勿体ないことだと思います。その手段がPPP/PFIはじめとした官民連携です。銀行員、地銀系シンクタンク、官公庁、PPP/PFIの教員をする中で、公共施設マネジメント、プラットフォームの設立・運営に関わった多様な経験を活かして、PPP/PFI活用の方向性を一緒に考えたり、人材育成や研修等に協力したりしたいと思います。ご連絡頂きましたら、必ず、1時間程度の無料相談(オンライン)で対応します。どんなことでも、お気軽に、お問い合わせください。相談内容の秘密は厳守します。

共有できる知識・経験

- PPP/PFIをはじめとした官民連携全般の基礎知識(指定管理者制度やコンセッション、市場化テスト、PFS/SIB等含む)
- PPP/PFIを活用するためのプラットフォームやネットワークづくりの経験
- PPP/PFI活用に先立つ行政内部の方針検討の経験(秦野市や内閣府勤務経験より)
- 地域金融機関との連携によるファイナンス機能の活用
- 事業構造を捉える方法(ストラクチャーシートの作成方法) 等

活動実績【中心的な役割を担ったPPP/PFI事業等】

- 京都府 公民連携プラットフォーム(アドバイザー)
 - ・内閣府支援の応募前から京都府の相談に応じ、プラットフォームの運営に貢献。
 - ・プラットフォームに可能な限り参加し、自治体・事業者の交流に尽力しています。
- 東京都小平市 公共施設マネジメントアドバイザー会議(アドバイザー)
 - ・小平市の公共施設マネジメントの検討段階において有識者としてその策定に関与。
- 京都府久御山町 中央公民館のあり方検討委員会(委員長)
 - ・老朽化の進んだ公民館施設への対応方針(改築・改修)に関する検討委員会を運営。
- 神奈川県秦野市 公共施設再配置計画(仮称)検討委員会(委員)
 - ・公共施設等総合管理計画(総務省)の理念を先取りした計画策定に委員長(東洋大学根本祐二教授)と共に委員として貢献。日本計画行政学会最優秀計画賞受賞。
- 京都府 京都スタジアム(仮称)に係るコンセッション事業に関する先導的開発事業検討協議会 委員
 - ・新たに整備するスタジアムの運営等の手法について、まちのにぎわい創出や収益性を高めたスポーツ施設とするための事業スキーム等を検討。

その他実績等はresearchmapをご参照ください。https://researchmap.jp/fujiki_hideaki

連絡先 fujiki@toyo.jp

事例 京都府久御山町 中央公民館のあり方検討委員会（委員長として関与）

2017年から2018年に開催した検討委員会の成果物（意見書）は、以下4つの項目で整理されたものです。これを受けて、久御山町は「全世代・全員活躍まちづくりセンター」の整備に向けた取組を進めています。

1 現在の利用状況等について

現在の中央公民館の稼働率や今後も必要と考えられる機能、中央公民館が利用できない場合の代替施設（役場庁舎、ゆうホール、総合体育館）などの検討をしています。

2 中央公民館のあり方（建物の考え方）検討

住民アンケートや文化サークルアンケートの結果などもふまえ、今後も必要と考えられる設備や規模などの機能を整理しています。

建物については、建物を現状維持し、耐震改修をおこなう「(1)現状維持、耐震改修」、可能な限り減築し（ホールも取り除く）、使用する範囲で耐震改修をおこなう「(2)減築・耐震改修」、建物を解体し、適切な規模の新しい建物を建築する「(3)適切な規模で建替え」、建物は解体し、必要な機能を他の施設へ移転する「(4)施設廃止（機能移転）」の4通りの考え方を想定する中で、それぞれの利点と留意すべき事項についてまとめられています。

3 現在のホール利用について

平成25年度に実施された耐震診断調査による結果が特によくないホールについては、建物のあり方検討とは別に使用停止などの整理が必要とされています。

4 今後に向けて（提言）

今後の方針決定に向け、「施設整備費用・ライフサイクルコストの比較」が必要なこと、また、「文化・生涯学習の展望」について検討が必要なこと、2つの視点により提言をまとめられています。

サポーターとしての相談実績

○研修講師

- ・佐賀県「PPP/PFI手法導入検討に係る説明会」講師 2019年8月27日
- ・徳島県「令和元年度第1回徳島県PPP/PFIプラットフォームセミナー」講師 2019年8月28日
テーマ「PFI事業におけるファイナンスについて」
- ・山梨県「第1回やまなしPPP/PFI地域プラットフォーム コアメンバー会議」講師 2019年9月20日
テーマ「地域におけるPPP/PFI活用のための基礎知識」
- ・公益社団法人リース事業協会「2019年度・官公庁向けリース研修会」講師 2019年11月8日
テーマ「地方創生と設備調達の手法」
- ・山形県「〈山形県職員対象!リスキングセミナー〉最新のPPP・公民連携の事例を知る！」講師 2022年10月17日

○学会・研究会等

- ・第43回日本計画行政学会研究大会ワークショップ「公共施設マネジメントの10年とこれから」（企画・責任者）
藤木秀明, 瀬田史彦, 上森 貞行, 早川誠貴 2020年11月27日
- ・都市計画学会 スマートシティ特別委員会 都市のあり方と制度小委員会 講師 2021年5月15日
テーマ「スマートシティにおける官民連携やファイナンスの基礎」